

1 事業内容

団体名	釧路市立朝陽小学校 PTA
事業名	朝陽フェスティバル
課題テーマ	地域経済の活性化
事業提案の背景	地域のイベントが減少しているため、地域住民との交流の場を増やしていきたい。
事業目的	警察、消防にも参加してもらうことにより、地域住民との繋がりや近隣の幼稚園や小中学校生徒との交流を深めて、住みやすく安全な地域にすることが目的です。
事業内容	朝陽小学校敷地内において、近隣小中学校、未就学児、近隣住民を対象に、フェスティバルを行いました。 【余興】近隣小中学校金管同好会演奏、桜ヶ岡児童センターバトンクラブ演技、ヒートボイスミニライブ（金管同好会とコラボ有り） 【職業体験】消防（放水体験、消防服着用体験） 警察（パトカー一試乗体験他） 【縁日】フワフワドーム、ヨーヨーすくい、スマートボールすくい他 【飲食】キッチンカー8台、PTA屋台（焼きそば、フランクフルト、焼き鳥等）、わたあめ、飲み物 【他】フリーマーケット、ビンゴゲーム
事業展開	朝陽フェスは2023年に初めて開催し、今回2回目の開催であった。事務局長が異動のため交代したことと、8月末のPTA会長の突然の死去が重なり、計画に大きな遅れが生じてしまった。特に広報活動が遅れた。しかし、昨年から発展させた内容で、やり遂げることができた。
成果目標の達成状況	今回は、体育館を会場に、新たにフリーマーケットを誘致し、市内各地や朝陽小保護者から30人ほどの出店があった。 学校近隣はもとより、市内各所から、来場があった。総来場者数の詳細な集計はできなかったが、約1200人程。 朝陽小・東雲小・桜が丘中が令和10年から義務教育学校として統合していくことについても紹介し、地域・市民に周知する機会となり、今後の学校や地域の在り方を考えるきっかけとなった。 地域の産業として炭鉱についての伝承としては、フェスの進行の中での紹介に留まった。今後、コールマインや子供達の学習成果と連携させながら展示ブースや発表会をフェスの中に設定していきたい。
波及効果の達成状況	他地域の小中PTAから、運営への問い合わせや、当日のイベントの見学希望などがあった。本フェスのスタイルを取り入れたイベントが、他地域（鳥取西地区や昭和地区など）でも、みられるようになった。学校を核とした新たなスタイルの地域協働活動のスタイルとなっている。
実施体制	主催 釧路市立朝陽小学校 PTA PTA役員4名 PTA会員5名教職員10名、大学生ボランティア、キッチンカー協会、フリーマーケット有志 春採中学生徒・教育大生
連携した市担当課	<input type="checkbox"/> 無 ・ 有 （ 部 課 ・ 室 ）
連携した市担当課が果たした役割（※有の場合）	

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	100,000	
自己資金	43,696	釧路市立朝陽小学校 PTA 会費より
売上	151,367	露店(焼き鳥・焼きそば・ジュース・ポップコーン)・バザーの売上等
合計	295,063	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
消耗品費	10,929	紙コップや割りばしなど
謝礼	25,000	桜中、春中、桜小 吹奏楽 司会
使用料・賃借料	3,000	焼きそば用鉄板など
委託料	110,000	会場運営、音響委託
小計	148,929	
対象外経費		
食材・飲料	123,634	露店調理用食材(焼きそば・焼き鳥・綿あめ・ポップコーン)ドリンク
景品	2,500	図書カードなど
謝礼	20,000	ヒートボイス(伊藤氏)
小計	146,134	
合計	295,063	